

てしお



表紙：第 42 回天塩川港まつり (8月15日)

◆ 今月の内容 ◆

- 天塩川港まつり P.2
- マチの話題 P.3 ~ 4
- かわまち通信 P.4
- 暮らしのお知らせ P.5
- 地方創生プロジェクト紹介 P.6
- こんにちはは保健師です P.7
- 病院だより P.8
- 町民カレンダー P.9
- マチの伝言板 P.10 ~ 11



天塩の短い夏に終わりを告げる花火



ちびっこ広場では当日の暑さもあって子どもらは気持ちよさそうに遊んでいた

第42回天塩川港まつりが天塩川河川公園において8月15日に行われました。

晴れ渡る空が広がり、前日までの寒さが嘘のような、まさに祭り日和となった当日には、多くの方が来場していました。

「母なる川祈願祭」を皮切りに「飲食・縁日コーナー」がオープン、午後から天塩高校吹奏楽局と軽音楽クラブ演奏会、遊水池での「ちびっこ広場」などの体験コーナーも人気を集め、客足は途絶えることなく会場は賑っていました。「大抽選会」で、港まつり実行



▲1万円つかみ取りでは上限額30万円を超える33枚を取った

委員会の深山秀敬大会長は「抽選券が約4万枚が発行された。これは町内で4千万円分お買い物していただいたことになる。皆さんに感謝いたします」と挨拶されました。抽選で1万円現金つかみ取りに当選された方は、最高金額30万円を見事に獲得しました。

「Teshio Sunset Music Live」で児玉梨奈さん、エビナマスジさんが、日本海に沈んでいく夕日を背にしての演奏と歌声に会場の盛り上がりは最高潮に達し、「花火大会」で、天塩の夏を締めくくるまつりは終わりを告げました。



▲会場を一層盛り上げた児玉梨奈さんとエビナマスジさんのライブ



▲打ち上がる花火に客席から拍手が沸いた



▲スラックラインなど体験コーナーも人気

▼迫力ある自衛隊の水陸両用車も展示された





▲緊張しながらもこやかに撮影が進められた

「いかのおすし」を守って

夏休み中の犯罪防止のため、7月19日に天塩警察署署員と天塩小学校の児童が犯罪防止のビデオ撮影を行いました。

ビデオ制作を担当したのは天塩小の放送委員3名で、人型ロボット「Pepper」も撮影に参加しました。児童は緊張しながらも司会をこなし、2時間ほどかけて約10分のビデオを完成させました。

ビデオは7月21日の給食時間に放送され、「知らない人についていかない」、「知らない車にのらない」、「おおごえを出す」、「すぐ逃げる」、「大人にしらせる」の「いかのおすし」を合言葉に不審者から身を守る5つの約束ごととして学んでいました。

資料館前で賑わい

7月27日と28日の両日において、天塩商工会青年部主催のビアガーデンが天塩川歴史資料館前で開催されました。

今年で4回目の開催となり、両日で延200名以上が来場しており、訪れた方は焼き鳥や焼きそば、ビールなどの飲み物を片手に、夕暮れとともに賑やかになっていく雰囲気を楽しんでいました。

特に初日は午後5時からのオープンから多くの方が訪れ、すぐに満席となる大盛況ぶりでした。

抽選会で佐久間勇次部長は「最高の天気と最高のお客様に恵まれました。ありがとうございました」と挨拶し、天塩の夏の風物詩の一つが終わりまりました。



▲空が暗くなるにつれて会場は賑わいを増していた

ふれあい大運動会



▲災害バケツを慎重かつ急いで運ぶ参加者

7月28日に鏡沼海浜公園にて町社会福祉協議会主催のふれあい大運動会が開催され、老人クラブの会員など約80名が参加しました。

参加者は3つのチームに分かれて、パン食い競争・玉入れなどの定番競技から、椅子に置いてある風船をお尻で割る「けつ圧測定」などのユニークな種目で競い合いました。

最終種目の「チーム対抗災害バケツリレー」では、1走者が災害バケツですくい上げた水をいかにこぼさずに次の走者につなげてゴールに着けるか競う競技となっており、受け渡しの際に水がこぼれると観客から歓声が上がると、白熱した大会となりました。

北海道の名付け親

天塩川流域11市町村で構成されるテツシ・オ・ペツ賑わい創出協議会主催で天塩川歴史資料館特別展示室において松浦武四郎パネル展が7月26日から30日に開かれ、延87名が来館しました。

松浦武四郎は、蝦夷地を「北海道」と名づけ、天塩国天塩郡などの「国」と「郡」を置いた著名な探検家で、来年は「北海道」と命名されて150周年を迎えます。

壁面に展示されたパネルのほかに、床には縦2m×横3mほどの地図「東西蝦夷山川地理取図」の巨大大床地図が展示しており、北海道の大きさと広さを改めて感じることができる展示となっています。



▲武四郎の足跡から当時の北海道を

ライダー集い交流深める



▲参加した道内外のライダーら

7月12日から13日に「てしお×EONEXのEON、旅人祭」が鏡沼海浜公園キャンプ場等において開催され、道内外のライダーら約80名が参加しました。

このイベントは、町内在住の船橋裕美さんや盛岡市在住の写真家小原信好さんが天塩をPRしようとして企画しており、今年で2回目の開催です。

参加者は、のど自慢チャンピオン大会に出場した西野結花さんの歌謡ショーやじゃんけん大会などで交流を深めました。

13日には、天塩川を清流にする会が主催する天塩川河川公園の木柵塗装ボランティアにも参加して汗を流していました。



▲最初から最後まで1時間半を踊りきった児童もいた

手拍子そろえて

8月13日と14日にミレニアムパークにおいて天塩町子ども会育成部連絡協議会主催の子ども盆おどりが開催され、両日で延254名が参加しました。

今年初めて露店が開かれており、親子がともに楽しめる雰囲気の中の開催となりました。

浴衣に身を包んだ子どもらは『しゃんしゃんこ』でおなじみの子ども盆おどりと唄とやぐら太鼓に合わせて、やぐらを中心にして、元気いっぱいに踊っていました。



戦没者追悼式

8月15日に天塩町戦没者追悼式が町社会福祉会館において行われ、遺族や関係者ら約68名が参列しました。この式典は、戦争で亡くなられた方たちを弔うべく毎年実施しております。

浅田町長は「先人に恥じぬよう未来に向け平和を愛し、全力でまちづくりに邁進していく」と式辞を述べました。

1分間の黙祷の後、天塩吟友会の献吟、参列者による献花が執り行われ、天塩遺族会東信夫会長から「今なお地域紛争やテロで苦しんでいる人がいる。世界平和の道のは遠いが、肉親の死を教訓とし平和を祈念する」とお礼が述べられました。



▲厳粛な雰囲気の中、式典が執り行われた

ヤナセが地方創生支援

町は、株式会社ヤナセグローバルモーターズ(以下「YGM」)から、同社が取扱をしている米国ゼネラルモーターズのブランド「シボレー・キャプティバ」にオリジナルカラーリングを施した天塩町専用車の無償貸与を受けました。

YGMは、町が交通課題の解決の取り組みとして相乗り事業を実施していることに賛同し、地方創生に向けた協力を共に行うことで意見が一致し、今回の貸与に繋がりました。

今後、町内外を含めた相乗り事業のドライバードライヴ登録の拡大のため、相乗りマッチングサイトへの会員登録(無料)、ドライヴ登録(町外へのドライヴの場合)などを条件にドライヴを希望する方にこの天塩町専用車を無償で貸し出す取り組みを実施する予定です。



▲無償貸与された「シボレー・キャプティバ」

かわまち通信

今回は7月28日〜30日に開催した「キャンプフェスタin天塩2017」での和船体験について紹介いたします。

私たちは、天塩町の歴史に縁の深い長門船を広く知ってもらうための取り組みを行っています。

「キャンプフェスタin天塩」は、毎年夏に行われる天塩町恒例のイベントで、道内外のファミリーが2泊3日で天塩町を訪れ、天塩町ならではの様々な体験を行います。

歴史チームでは、和船模型づくり体験を提供するため、部品づくりなどの準備を進めてきました。実際に

▼和船模型づくりを楽しむ子どもら



▼須工しまんと乗船体験



時間内で子供たちが模型づくりをできるか、リハーサルを行って時間や作業手順を確認したりしました。当日は21名の参加者と一緒に和船模型づくりを行いました。最初は、不慣れな様子で、とまどっていた親子連れの参加者も、だんだんに慣れていき、船の形になつていくことに嬉しそうでした。約3時間かけて、船が完成して実際に鏡沼に浮かべて、子供たちから歓声があがりました。

その後、4月に高知の須崎工業高校さんからお借りした、和船「須工しまんと」に乗船し爽快な青空の下、鏡沼を周遊し子供たちは、夏休みの素敵な思い出になったことと思います。

池田ゼミ

in 天塩

☆日程

9月16日(土)～18日(月)

☆場所

町社会福祉会館

☆講師

ソフトバンク株式会社CSR
グループマネージャー



池田 昌人 氏

☆受講料

無料

☆申込方法

次のQRコードよりお申し込みください



☆申込期限

9月11日(月)まで

【問い合わせ先】

総務課総務係

☎内線225



ソフトバンク株式会社CSRグループマネージャーの池田氏を講師に迎え、人材育成講座「池田ゼミin天塩」を開催します。池田ゼミでは、PDCAや5W1Hのような基本フレームに加え、講師の経験から知っておくべき「いろは」や「テクニック」を学ぶことができます。「仕事を効率的に行うことができない」「職場の人間関係やモチベーション維持が難しい」などの仕事に対してお悩みの方はぜひご参加ください。

暮らしのお知らせ

ご当地ナンバープレートへ交換しませんか

天塩町では、平成28年9月より「ご当地ナンバープレート」の交付を開始しております。

すでにナンバープレートの交付を受けている方で「ご当地ナンバープレート」への交換を希望される方は、期間内に住民課税務係まで申請してください。

なお、新規交付の場合は、随時受け付けております。

☆交換申請受付

平成29年9月29日(金)まで
8時30分から17時15分

※新規交付を除く

☆交換手数料

無料

☆交付開始時期

平成29年12月中旬頃(予定)

☆対象車種

原動機付自転車(50cc以下)《白》、90cc以下《黄》、125cc以下《桃》、小型特殊自動車(農耕用を含む)《緑》、ミニカー及び4輪バギー《水色》



【問い合わせ先】

住民課税務係

☎内線1228又は129

平成29年度 天塩町敬老会

平成29年度

天塩町敬老会では、毎年おなじみの松村一郎さんによる楽しいショーを中心に開催します。

笑いあり涙ありの楽しいひとときをお過ごしください。

なお、席に限りがありますが、観覧対象外の方(満70歳未満の方)もご覧いただけます。

☆日時

平成29年9月8日(金)

14時00分開演

☆会場

町社会福祉会館 大ホール

☆出演者 ※敬称略

松村一郎、滑川まさ美、長江亜津子、佐々木孝、佐々木真理子、ピリカ

☆観覧対象

9月1日現在で満70歳以上の方

※当日は会場の混雑が予想されますので、お車でのご来場はご遠慮願います。

【問い合わせ先】

福祉課福祉係

☎132、133、134



Project of Regional Revitalization

てしおのくに
天塩國眠れる食資源活用プロジェクト

「ひと・もの」協働輸送プロジェクト

Introduction # 5

天塩國眠れる食資源活用プロジェクトでは「ひと・もの」協働輸送プロジェクトを開始します。今号の地方創生プロジェクト紹介では、天塩町と沿岸バス株式会社（以下「沿岸バス」と）ヤマト運輸株式会社（以下「ヤマト運輸」）の3者が協力することで実現したこのプロジェクトの概要についてご紹介いたします。

町では、昨年度から天塩國眠れる食資源活用プロジェクトを実施し、天塩の食資源により高い価値の商品を開発、販路拡大を進めていますが、天塩町の主な食資源である魚介類や乳製品などは、鮮度が重要になります。そこで課題となるのが、「物流ライン」です。

天塩町は大消費地である都市部から遠隔にある地理的条件化にあります。既存の物流ラインでは、町内で当日受けた商品を都市部に送った場合、到着は翌日となっており、鮮度が重要な商品の価値は下がってしまうことから、物流ラインの改善による配送時間の短縮が求められていました。

この課題を解決するため、天塩町・沿岸バス・ヤマト運輸が協働し、客貨混載による新たな物流ラインを作り出す『ひと・もの』協働輸送プロジェクトを開始することになりました。



「ひと・もの」協働輸送プロジェクトとは？

このプロジェクトにより、当日の午前中に受けた宅配物を沿岸バスの路線バスで輸送し、ヤマト運輸の配送ルートに接続することで、都市部（※）へ翌日午前中に配達することができます。すなわち、天塩港で当日朝に水揚げした魚介類など鮮度を保ったまま翌日の午前中には、都市部のレストランなどに食材として届けられることが可能になります。

※東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県（茨城県、栃木県、群馬県、山梨県は14時以降の配達）

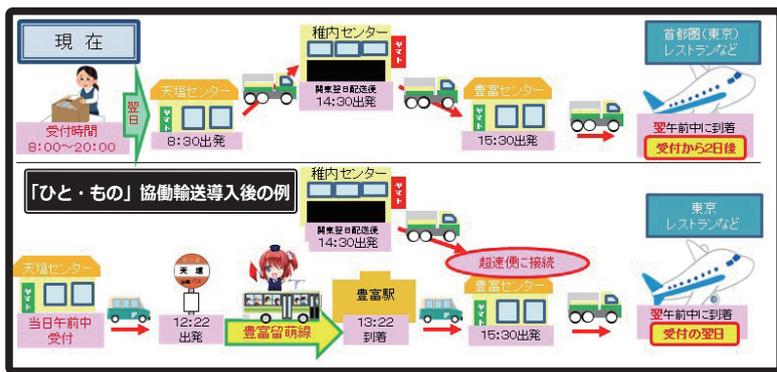
なぜ実現できたのか？

3者はそれぞれ「新鮮な天塩産の食資源を都市部に届けたい」、「路線バスの生産性向上」、「自社配送区間のコストカット」を望んでおり、また3者がともに「過疎地の活性化」を望む思いが重なり、意見交換や実証実験などを経て、8月28日に協定を締結することができました。

どのように運ぶのか？

- (1) ヤマト運輸天塩センターにて宅急便「超速便」を午前中に受付
- (2) 沿岸バスの路線バス（天塩町・豊富町）に混載してヤマト運輸の翌日首都圏配送便に接続
- (3) 受付当日中に東京センター着
- (4) 翌日午前中に配達

協働輸送イメージ図



協働輸送の効果は？

天塩町から大消費地である都市部へ鮮度（＝価値）を維持したまま特産品等を届けられ、販路開拓の可能性が高まります。

それだけではなく、沿岸バスでは、空席解消と貨物積載による路線バスの生産性向上が図られ、またヤマト運輸では、自社配送していた区間をバスへの積載により労働時間の短縮とコストカットが図

られます。

協働輸送実施に伴うご案内
沿岸バスの路線バスをご利用される方へ

バス座席（おおむね2席）を荷物の積載スペースとして使用する場合があります。車内に荷物を混載する場合は、客貨混載の旨を表示いたします。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

ヤマト運輸の超速・宅急便（首都圏翌日便）をご利用の方へ

当日の12時までにヤマト運輸天塩宅急便センターにお持ち込みください。料金等につきましては、ヤマト運輸天塩宅急便センターのフリーダイヤル「☎0120(01)9625」、携帯電話からは、ナビダイヤル「☎0570(200)704(※)」へお問い合わせください。

※通話料金が発生いたします

なお、ヤマト運輸「超速・宅急便」サービス提供開始は平成29年9月1日からを予定しており、10月1日より、ヤマト運輸は全国一律に宅急便運賃の料金改定を行う予定です。

次号も、引き続き「天塩國眠れる食資源プロジェクト」についてご紹介する予定です。

中学生以上の方は ピロリ菌抗体検査を受けましょう

ピロリ菌って何???



ピロリ菌は、胃にすみつき胃粘膜を傷つける細菌です。症状がないまま感染が続くことで胃炎が進行し、萎縮性胃炎や、胃潰瘍・十二指腸潰瘍を引き起こします。ピロリ菌は**胃がんの原因**となり、日本で発見される胃がんのほとんどが、ピロリ菌感染によるものであることがわかっています。

なぜ感染するの???

ピロリ菌に感染するのは、免疫の働きの弱い10歳頃までで、ほとんどが5歳以下の乳幼児期に感染すると言われています。上下水道が整備されていなかっただ時代に不衛生な水を飲んだことや、ピロリ菌に感染している人からの食べ物の口移しが考えられます。



検査が必要な人はどんな人?

中学生以上の全員が検査を受けるのが望ましいとされています。ピロリ菌の感染期間が長いほど胃がんを発症しやすくなるため、なるべく早く除菌することが望ましいからです。特に、ピロリ菌検査を受けたほうがよいと考えられるのは、次に当てはまる方です。

- ・家族等の中で胃がんになった方がいる方
- ・喫煙している方
- ・塩辛いものを良く食べる方
- ・胃痛を感じることがある方



ピロリ菌抗体検査のお知らせ

町では、ピロリ菌感染による胃がん発症予防を目的として、ピロリ菌抗体検査を無料で受けることができます。ご自身や家族の胃の健康をぜひ確認してみてください。

【対象者】

天塩町に住民票があり、次の条件に全てに該当する方

- (1) 中学1年生以上60歳未満の方
- (2) ピロリ菌抗体検査を受けたことがない方

※**60歳以上の方は対象外**ですが、ピロリ菌の感染者が多い世代のため、胃疾患がないかを胃カメラで検査することをお勧めします。

【検査方法】

- ① 尿中抗体検査
- ② 病院で採尿
- ③ 医師より結果説明

【料金】

無料（1人1回）

【申込方法】

病院（☎2・1058）へ直接お申込みください
※ピロリ菌抗体検査以降の各検査や除菌治療は有料となり、本人の希望により行われます。

【検査日程】

町立国民健康保険病院
外来診療日
※診療体制等の理由によ

「在宅訪問診療」について

こんにちは、外来看護師の福澤です。

「1万円札の福澤です」と自己紹介していたら、最近「1万円札さん」と呼んでくださる患者さんがいるので大変嬉しく思っています。

私は天塩町に来てもうすぐ丸4年になります。高校卒業後、滝上町役場に事務職員として就職しましたが、上司に勧められて看護師になり、町内の特別養護老人ホームに4年、その後は天塩に来るまで滝上町国民健康保険病院に勤務していました。

滝上では足腰が弱って通院が困難になったり、認知症で病院に来ることを忘れてしまったり、家族の事情で来院出来なかったり、そんな患者さんのためにと16年程前から定期的な在宅訪問診療を開始し、多い時で120件ほどのお宅にうかがっています（癌と認知症で亡くなった私自身の父も）。その経験を生かして天塩町では現在30件ほどのお宅を訪問させていただいています。

ご自宅に飾ってあるお子さんやお孫さんとの写真、賞状やメダル、そこには楽しかったこと、苦しかったこと、たくさん思い出やがんばって生きてきた物語があります。そんな人生の最終章を天

塩の自宅を迎えた4名の方の看取りもさせていただき、私達医療者にとっても忘れられない事がたくさんありました。

Aさんは自分の最期が近いと悟られ「家に帰りたい」と自宅に戻り、たくさん家族と過ごすことができました。希望を叶えるお手伝いを少しはできたのかなあと思っています。

Bさんは奥さんと息子さん達が数か月間にわたり献身的な介護をされ、最期が近づいた時、息子さんの「もっと面倒みてあげたかったなあ」との言葉に胸を打たれました。

Cさんは3世代の家族全員の介護で最期を迎えられました。お孫さんが立派に入浴介助されていたことが心に残りました。

Dさんは病院嫌いで「絶対入院しない」と在宅療養を希望されました。「また来るね」と言う嬉しそくに微笑まれていることが印象的でした。そして、最期まで自立した生活を続けて、住み慣れた自宅のベッドで静かに旅立たれました。

超高齢化社会を迎えた現在、9割以上の方が病院で亡くなっています。しかし今後は施設や病院のベッドが削減されるため、多くの方が自宅で最期を迎えなくてはな

らない時代がやってきます。昔は病院よりも自宅で亡くなる方のほうが多い時代がありました。核家族化の影響で病院で亡くなる事が当たり前になり、往診するかわりにつけ医師も少なくなりました。

国は病院ではなく自宅での生活を支えるために介護保険サービスを充実させています。しかし在宅訪問診療をする医師はほんの一握りしかいません。また都会では訪問する医師と入院する病院の医師は異なる場合が多く、入院すると訪問していた医師が診療しないことが普通です。

その点、天塩町では、訪問医師も入院した病院での医師も同じ医師が継続して診ることができると安心です。

訪問回数はそれぞれの病状や一人暮らしか家族と同居かによつて

違いますし、「具合が悪い」と連絡があれば訪問します。採血は自宅で行い、薬もキタ調剤の薬剤師さんが届けています。

季節の変化を感じていただくために、結構恥ずかしいのですが、変装して訪問することもあります（写真1・2）。

現在、医師2名、外来看護師2名が交替で、冬の地吹雪でも安心な車高の高い真っ赤な車で訪問しています（写真3）。

これからも、訪問時は外来患者さんにはお待ちいただく事もありますが、町民の皆様にもご協力いただけるよう頑張っていきたいと思っています。

文責 外来看護師 福澤 由起子



【問い合わせ先】天塩町立国民健康保険病院 ☎ (2) 1058

町民カレンダー

平成29年 9月

日	月	火	水	木	金	土
休み	生ゴミ ペットのふん	一般ゴミ	資源ゴミ 紙おむつ等 衣類等	生ゴミ ペットのふん	農村地区	休み
8月 27	28	29	30	31	1	2
<p>・日程は変更となる場合がありますので、ご確認ください。 ・ごみは当日の朝8時までに出してください。</p>						
3 ■乳がん健診 [ふれあいセンター]	4 +眼科外来 受付9時～14時 ■定期健康相談・物 忘れ相談 [天塩町役場] 10時～16時	5 ●運転免許更新時講 習 [社会福祉会館] ・初回 10時00分 ・優良 13時00分 ・一般 13時45分 ・違反 15時00分	6 ■夕映健康相談 [てしお温泉夕映] 13時30分～ 14時30分 ●運転免許更新時講 習 [幌延町消防署二階] ・優良 18時30分	7 ★おでかけサロン [雄信内憩の家] 10時～14時 ★ヘルスアップ教室 [スポーツセンター] 19時00分～ 20時30分	8 ●天塩町敬老会 [社会福祉会館] 14時00分～	9 ●町民ジョギング大 会 [運動公園]
10 ●第10回てしお味 覚まつり [鏡沼海浜公園]	11 ○雄信内保育所開放 日	12 ★おでかけサロン [老人福祉センター] 10時～14時 ○こども園開放日	13	14 ★ヘルスアップ教室 [スポーツセンター] 19時00分～ 20時30分	15 ○託児の日 [ふれあいセンター]	16 ●池田ゼミ in 天塩 [社会福祉会館]
17 ●池田ゼミ in 天塩 [社会福祉会館]	18 《敬老の日》 ●池田ゼミ in 天塩 [社会福祉会館]	19 ■はまなす学園大学	20 ■しゃっきりサロン [てしお温泉夕映] 13時～14時	21 ★いきいきサロン [雄信内老人憩の家] 10時～14時 +眼科外来 受付12時～15時 ■結核検診	22 ○5歳児健診 12時30分～ 13時00分 ○乳児健診 12時50分～ 13時20分 +小児科外来 受付13時30分～ 16時00分 ■結核検診	23 《秋分の日》
24	25	26 ★いきいきサロン [老人福祉センター] 10時～14時	27 ★はつらつクラブ 13時～15時	28 +産婦人科外来 受付13時～16時 ★ヘルスアップ教室 [スポーツセンター] 19時00分～ 20時30分	29	30

あいあいクラブ開催場所

- ◇天塩地区
日時：毎週火・水・木曜日 10時～12時
場所：子育て支援センター
- ◇雄信内地区
日時：毎週月曜日 10時～12時
場所：雄信内保育所



天塩町をめぐって天塩町 返礼品について

町内に住むる方に返礼品を贈呈できなくなります

「都会へ移り住んだ方が生まれ育った方からふるさとへの寄附に対して自治体が返礼品でお礼する」という趣旨のもと、ふるさと納税制度が作られました。

この趣旨に反することから、ご寄附先の市町村に住所を有する住民（天塩町では天塩町に住民票を有する方）からのご寄附に対し、返礼品を贈呈できなくなります。

天塩町では、平成29年10月以降の受付分から返礼品贈呈の対象外といたします。

なお、返礼品の贈呈はできなくなりますが、ご寄附は受け付けておりますので、天塩町の子育てや教育、まちづくりのため、応援をよろしくお願いたします。

全 国 一 斉 養 育 費 相 談 会

養育費に関する電話相談会を日本中の青年司法書士が連携し、「全国一斉養育費相談会」を開催します。相談料は無料です。秘密は厳守します。

・日時

平成29年9月2日（土）

10時～16時

・相談専用フリーダイヤル

☎ 0120（567）301

◆問い合わせ先◆

釧路青年司法書士協議会

☎ 0156（65）2198

借 金 ・ 金 融 一 般 相 談 会

北海道財務局の専門の相談が「借金の悩み」を親身になってお聴きし、あなたに合った解決方法を提案します。また、「預金・融資、保険など金融全般」のご相談も受け付けます。秘密は厳守いたします。

・受付日時

平成29年9月14日（木）

10時～12時

・会場

旭川地方合同庁舎西館1階第1

共用会議室

※当日お越しいただけない方につきましても、次の常設窓口で相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

「借金・金融一般相談」

・多重債務者相談窓口

☎ 011（807）5144

・金融ほっとライン

☎ 011（807）5145

・中小企業等金融円滑化相談窓口

☎ 011（729）0177

◆問い合わせ先◆

北海道財務局相談員

☎ 011（807）5144

冬 休 み 海 外 研 修 交 流 事 業 参 加 者 募 集

公益財団法人国際青少年研修協会では、5コースの参加者を募集しています。海外生活を通して交流を体験し、国際感覚を養うことを目的に実施します。

おひとりでご参加になる方や初めて海外へ行かれる方が7割以

上ご参加されます。事前研修会では仲間作りからサポートいたしますので、安心してご参加いただけます。

・内容

ホームステイ、クリスマス体験、英語研修、文化交流、地域見学、野外活動等（コースにより体験内容をお選びいただけます。）

・研修国

オーストラリア、カナダ、サイパン、フィリピン、カンボジア

・日程

平成29年12月24（日）から翌年1月4日（木）のうち、6～10日間（コースにより異なります）

・対象者

小学3年生から高校3年生の方

・定員

各グループ15名

・参加費

22・8～42・8万円

・申込締切

平成29年11月1日（水）

◆問い合わせ先◆

公益財団法人国際青少年研修協会

☎ 03（6417）9721

アイヌ民族の ご遺骨等の返還

北海道大学及び札幌医科大学では、平成28年9月30日より、各大学が保管しているアイヌ民族のご遺骨等のうち、身元が判明したご遺骨等をお返しする手続きを開始しております。

また、北海道大学では、この度、すでに大学のホームページ等で公開している16体に加え、新たに18体のご遺体の身元が判明したことから、平成29年5月31日より、これらの34体のご遺骨等の情報を北海道大学のホームページで公開しております。

情報の公開しておりますご遺骨等に関し、お心当たりのご遺族の方は、各大学の担当窓口までお問い合わせください。

また、1体のご遺骨等について、複数のご遺族から返還のお申し出がある場合も考えられますことから、一番初めにお申し出いただいた方の手続きが行われてから、1年の間、ほかの方からの返還のお申し出をお受けいたします（現在公開しておりますご遺骨等には、すでに返還のお申し出を頂いているものが

「厚志」の紹介

●天塩町社会福祉協議会 愛情銀行へ

【香典返しとして】

海岸通10 少 数 千代二 さん
南町 津 田 実 さん

【社会福祉のために】

天塩陶芸サークル 様

●恵愛荘へ

山手通5 稲 垣 満 さん
緑新団地 太 田 秀 雄 さん
山手裏通7 鹿 児 島 亜 子 さん
北産土 天 羽 友 子 さん
山手裏通6 堺 美 代 子 さん
南町 津 田 実 さん
稚内信用金庫天塩支店 様
地域支え合いサロンのみらくる利用者二同 様
留萌北部森林組合 様

●ボランティア活動

【恵愛荘へ】

天塩中学校 様
天塩高等学校ボランティアクラブ 様
JAてしお女性部銀齢部会 様

【ライサービズセンターへ】

山手裏通4 来 田 和 雄 さん
山手裏通3 園 田 一 治 さん



地域貢献企業等の紹介

地域振興のためご尽力いただいた企業等に対し、感謝状の贈呈を行いました。ご尽力いただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

白鳥建設工業株式会社 様

(天塩港浚渫土砂処分協力)

北海道技建株式会社 様

(天塩中学校駐車場ライン引き作業)

株式会社堀口組 様

(いつくしま公園環境整備)

ハラダ工業株式会社 様

株式会社瀬越組 様

株式会社マイク 様

地崎道路株式会社 様

あすなる道路株式会社 様

興北建設株式会社 様

(鏡沼しじみまつり警備員派遣及び簡易トイレ設置支援)

株式会社瀬越組 様

(鏡沼海浜公園旧電話ボックス撤去)

おめでとうございます

～おたんじょう～

(新栄通11)

小 林 佑 さん
一崇さん・佳織さんの長男

(富士見)

久 末 寛 人 さん
明寛さん・里奈さんの長男

(雄信内)

坂 下 有 紗 さん
達郎さん・宣子さんの長女

～ごけっこん～

(新栄通11)

工 藤 将 法 さん
泉 倫 子 さん

ごめいふくをお祈りします

(海岸通10)

少 数 やす 丞 さん (66歳)

(南町)

津 田 輝 夫 さん (86歳)

まちのうごき

7月末

人口 3,190 人 (- 3)
男 1,589 人 (+ 2)
女 1,601 人 (- 5)
世帯数 1,576 世帯 (- 1)

※ () 内は前月比

マチの話題 (番外編)

●天塩中生徒義援金を贈呈

7月20日



▲義援金を手渡した天塩中生徒会

に天塩中生徒会が町社会福祉協議会を通じて福岡・大分大雨災害義援金を贈呈しました。生徒会を中心にして、生徒が自主的に校内で義援金を集めようと決めました。周知には、お便りを作成・配布し、毎日の登校時間に呼びかけを行いました。義援金は、3日間で17,776円が集められており、被災地へ届けられます。

編集後記

♪つも「広報てしお」をご覧いただきありがとうございます。秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」のとおりに目には見えなくとも、吹く風の冷たさに秋の訪れを感じる広報担当の相馬です。

♪表紙の花火はいかがでしようか。光と音の迫力、そしてすぐに消える儚さを実際に会場に来ていただいて楽しんだ方がほとんどだと思います。ですが、残念ながら足を運べなかつた方に少しでも楽しんでいただければと思います、昨年9月号と同じく花火を表紙にいたしました。

♪9月は秋の一大イベント「てしお味覚まつり」が控えています。個人的な願掛けになりますが、この編集後記で天気を願うと叶う気がしますので「まつり当日に見事な秋晴れを期待」しています。